

巻頭言 / そこが知りたい

パナホーム、奈良で既存住宅の活用・流通促進プロジェクト(国土交通省モデル事業)が始動

「国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」『かわい浪漫プロジェクト』がスタート／ニュースリリース (2015年2月12日)

<http://www.panahome.jp/company/news/release/2015/0212.html>

パナホーム (大阪府豊中市) とパナホーム不動産 (同)、パナホーム リフォーム (同) は、奈良県で既存住宅の活用・流通の促進に向けた活動を開始した。

対象は北葛城郡河合町の西大和ニュータウンにある星和台・中山台・広瀬台・高塚台の3,578世帯。プロジェクトではまず、住宅の実態調査や住民への意向調査により、まちの現状を把握し、要望の分析や共有化を行う。あわせて、住宅診断の推進や、住宅所有者が抱える住まいの利活用に関する悩みにワンストップで対応できる相談窓口を開設する。

周辺地域や近隣都市部に居住する若年層に向けても、河合町の魅力や同プロジェクトの活動情報を積極的に発信する。居住誘致を行うなど、総合的に既存住宅の活用・流通につながる取り組みを展開していく。

同プロジェクトは、国土交通省の2014年度の「第2回 住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」でモデルプロジェクトとして今年1月に採択された。同社グループは、一連の取り組みを「かわい浪漫プロジェクト」として自治体とも協力して進めていく。

【採択事業の概要】

1. 事業目的

人口減少・住民高齢化・空き家増加が課題となっている「西大和ニュータウン」を、持続的に活力ある地域とするため、住宅メーカーとしての総合力を活かし、自治体 (河合町) と連携しながら、情報提供や相談対応を通じて活用・流通促進を図る。

2. 対象地域 所在地：奈良県北葛城郡河合町 星和台・中山台・広瀬台・高塚台 (西大和ニュータウン)

3. 事業期間 2015年1月から2016年2月まで

4. 事業内容

1. 事業周知活動 (説明会の開催、Webサイトの開設 等)

2. 実態調査・意向把握 (住宅の利用実態や住民の意向、新規入居ニーズ 等)

3. 情報提供・相談対応 (相談窓口の設置、住宅診断の実施、性能向上リフォームの実施 等)

4. 新規入居者の誘致 (物件情報の提供、周辺地域・近隣都市部からの誘致活動)

対象地の居住者は、自宅の検査・調査 (住宅診断) が国の補助により無償で受けられるほか、自宅を売却・賃貸する場合には、耐震改修・バリアフリー改修・省エネルギー改修等、一定の条件を満たすリフォーム工事費用の3分の1 (上限100万円) の補助を受けることができる。